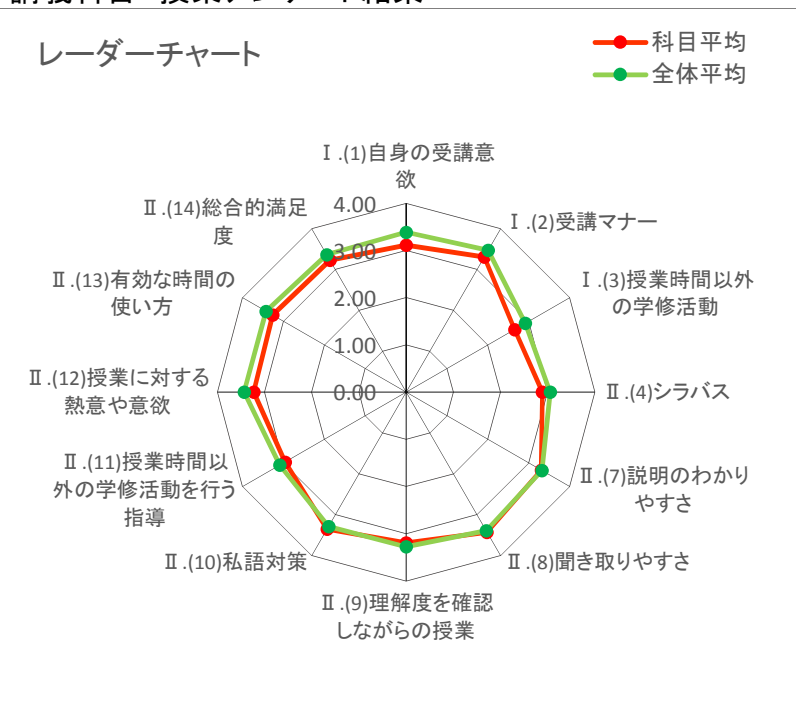
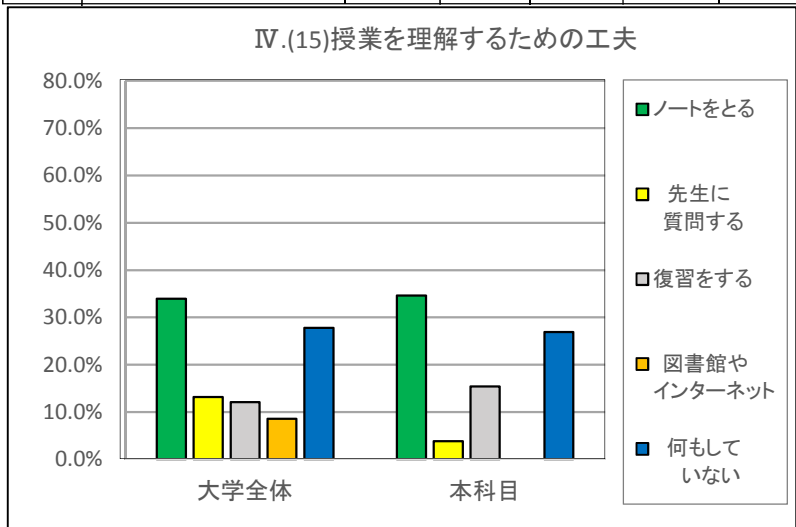


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	34.6%	3.8%	15.4%	0.0%	26.9%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.12	3.39
	I.(2)	3.31	3.47
	I.(3)	2.65	2.91
受講内容・方法	II.(4)	2.88	3.05
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.31	3.32
	II.(8)	3.42	3.39
	II.(9)	3.19	3.27
	II.(10)	3.35	3.28
	II.(11)	2.96	3.09
	II.(12)	3.23	3.43
	II.(13)	3.27	3.43
満足度	II.(14)	3.23	3.36

授業年度	2014年度 後期
時間割番号	44309/44357
科目名	財政学Ⅱ/財政学
教員名	

①授業計画の達成度について

授業計画に従って授業運営を行うことができたと認識しているが、設問4の値が若干低いのはテーマとしての「税金」を大学生として身近に感じてもらうことができなかったのかもしれない。難易度(設問5、6)については、両者ともに全体平均より若干高く、その評価は困難である。

②授業の進め方について

説明の分かりやすさ(設問7)、聞き取りやすさ(設問8)、理解度確認(設問9)については全体平均に近い数値であり、前期の「I」と比べて(サンプルが異なるのであくまで参考として)、若干改善している項目が多かった。項目10(環境)については全体平均を上回っている。項目16(総合的満足度)が平均より若干低いことは反省点であり、テーマ(税金)の取っつきやすさという点もあるのかもしれない。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

自身の受講姿勢(設問1~3)について、前期(同科目のI)の結果よりそれぞれ数値が下がっている。その点をどのように引き上げていくかが課題と考える。設問15(授業を理解するための工夫)で、「ノートを取る」や「復習をする」が全体平均を上回っている点も併せて考えると、意欲の低い学生にどう興味を持ってもらえるのかという点だと感じる。具体策についてすぐに見つかるものではないが、その点は強く意識して授業改善を考えたいと思っている。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.03	3.26
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.20	3.28
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.23	3.36
III.(14)		